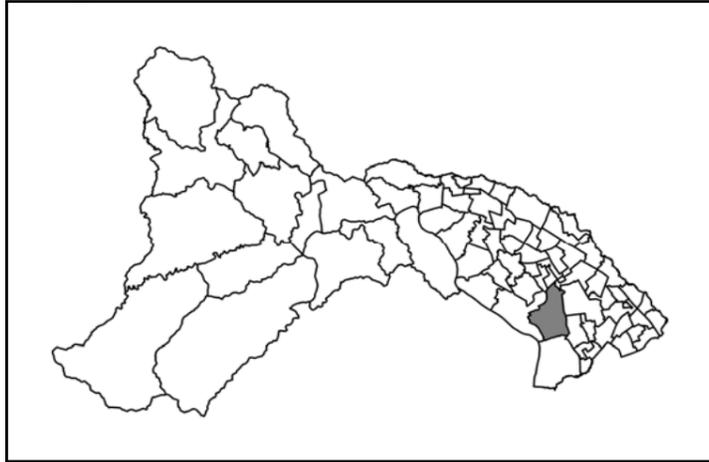


○地区を構成する町丁

【南区】麻溝台1丁目、北里1丁目、下溝、当麻

○位置図



○地区自治会連合会名(自治会名)

麻溝(大下, 自治会法人谷戸, 自治会法人上庭, 下庭, 自治会法人畑ヶ中, 中丸, 自治会法人堀之内, 松原, 大橋, 西堀, 新屋敷, 下原上, 下原下, 上中丸, 古山下, 原当麻下, 芹沢, 古山台, さいこが丘)

○地区概況

地形は、相模川沿いの低地と2段の台地（上段、中段）からなる。台地の境は段丘崖となっている。台地上を鳩川、姥川、道保川が流れている。道路は、南北方向に県道46号相模原茅ヶ崎線、県道507号相武台相模原線が、東西方向に県道52号相模原町田線が通っている。JR相模線が南北方向に通っており、原当麻駅がある。低地は主に水田として利用されている。住宅地は中段に集中しており、上段は主に住宅地に利用されている。

○建物数・人口

| 建物 |              | 区分     |   | 建物 (棟数) |
|----|--------------|--------|---|---------|
| 建物 | 木造(昭和55年以前)  | 561    | 棟 |         |
|    | 木造(昭和56年以降)  | 2,273  | 棟 |         |
|    | 非木造(昭和55年以前) | 82     | 棟 |         |
|    | 非木造(昭和56年以降) | 451    | 棟 |         |
| 合計 |              | 3,367  | 棟 |         |
| 人口 |              | 区分     |   | 人口 (人)  |
| 人口 | 0~4歳         | 602    | 人 |         |
|    | 5~64歳        | 8,735  | 人 |         |
|    | 65歳以上        | 1,997  | 人 |         |
|    | 合計           | 11,334 | 人 |         |

○所見

- ・避難所は麻溝小学校の1箇所に限られている。
- ・段丘崖が多くみられる。
- ・広域避難場所は上段にあり、避難する経路によっては坂道がある。
- ・地区内の河川は、改修が進んでいる。
- ・富士山の大規模噴火時には2~30cmの降灰が予測されており、その場合、道路・鉄道の通行不能をはじめ、停電や取水停止など重大な被害を受ける。

○防災関連施設

|                           |  |
|---------------------------|--|
| 市役所、まちづくりセンター、出張所等の主な公共施設 | 麻溝まちづくりセンター、県内広域水道企業団相模原浄水場、麻溝公民館  |
| 警察署                       | 麻溝交番   |
| 消防署                       |  |
| 消防団詰所                     | 下溝南, 原当麻, 下溝北  |
| 病院等                       | あだち整形外科, 志村クリニック, 麻溝じんクリニック, 加来クリニック   |
| 主な災害時要援護者施設               | ローズハイム, 和のっこ, 社会福祉法人一乗会 ケアホームロンド・リアン, 神奈川県立相模原養護学校, 相模原友愛温泉病院, グループホームあゆの里相模, アイネットきたざと、ライム, 北里地域生活支援センター ふるーる, 社会福祉ホーム慈母会ハートホーム 慈仁舎 リッチフィールド, アルプスの杜「さがみ」, 社会福祉法人相模更正会 相陽台ホーム, 相模はやぶさ学園, ワークショップ・フレンド、ホームすずらん、相談支援センター・フレンド |
| 幼稚園、保育園                   | 麻溝保育園  |
| 学校、大学                     | 麻溝小学校, 女子美術大学  |
| 避難所                       | ※麻溝小学校   |
| ※洪水時避難所兼用                 |  |
| 洪水時避難所                    |  |
| 広域避難場所                    | 県立相模原公園一帯  |
| 防災備蓄倉庫                    | ※県立相模原公園一帯, 麻溝小学校  |
| ※広域避難場所対応                 |  |
| 臨時ヘリポート                   |  |

○地震被害予測結果

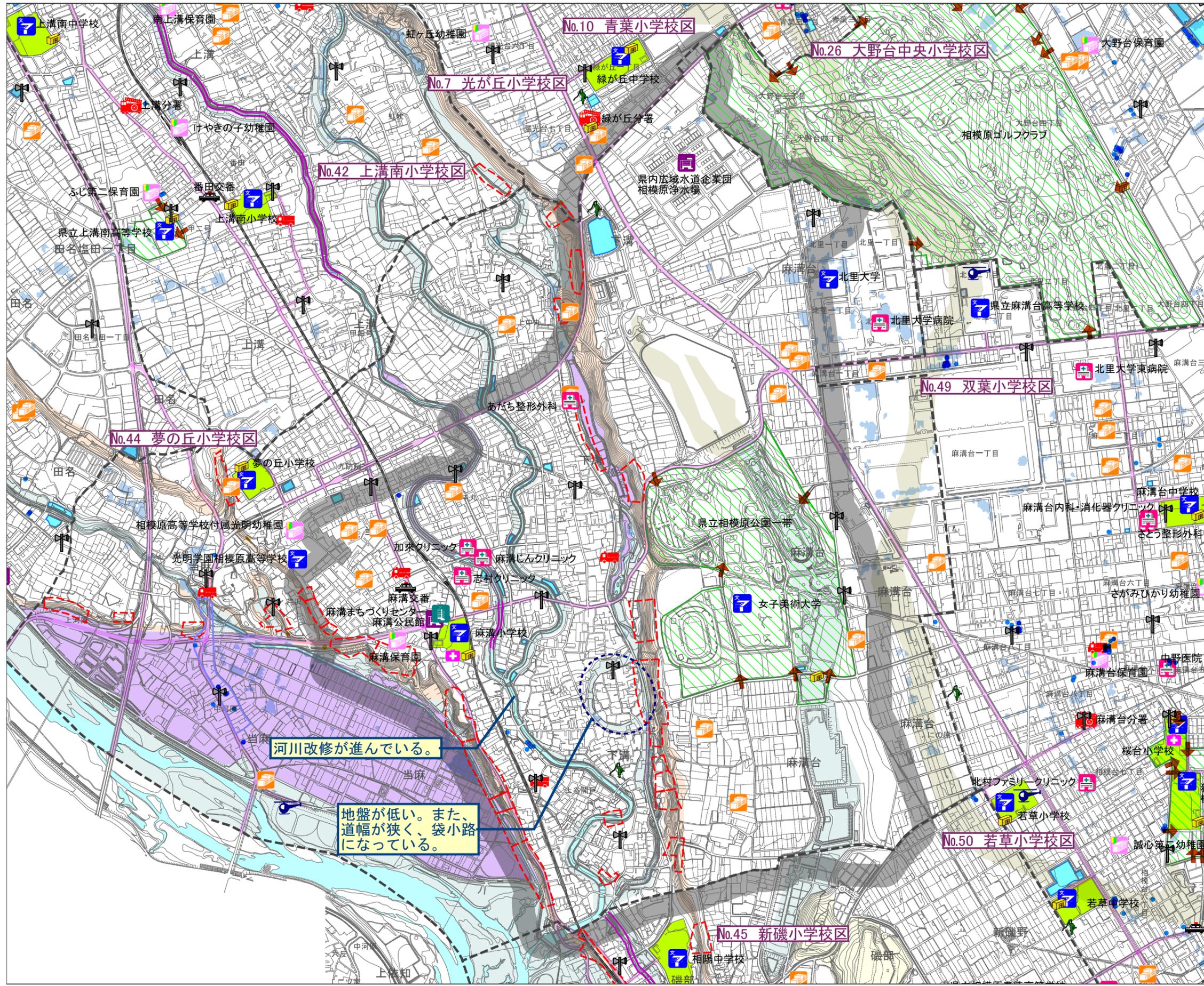
|              | 東部直下地震 |       | 西部直下地震 |       | 大正関東タイプ地震 |       |
|--------------|--------|-------|--------|-------|-----------|-------|
|              | 被害量    | 比率    | 被害量    | 比率    | 被害量       | 比率    |
| 建物全壊         | 116 棟  | 3.4 % | 21 棟   | 0.6 % | 41 棟      | 1.2 % |
| 建物焼失         | 19 棟   | 0.6 % | 1 棟    | 0.0 % | 0 棟       | 0.0 % |
| 死者           | 7 人    | 0.1 % | 1 人    | 0.0 % | 3 人       | 0.0 % |
| 閉込者          | 41 人   | 0.4 % | 7 人    | 0.1 % | 14 人      | 0.1 % |
| 重傷者          | 8 人    | 0.1 % | 1 人    | 0.0 % | 3 人       | 0.0 % |
| 軽傷者          | 48 人   | 0.4 % | 21 人   | 0.2 % | 29 人      | 0.3 % |
| 避難所避難者(当日)   | 333 人  | 2.9 % | 82 人   | 0.7 % | 131 人     | 1.2 % |
| 避難所避難者(1週間後) | 884 人  | 7.8 % | 461 人  | 4.1 % | 590 人     | 5.2 % |

○災害危険度評価

| 危険度評価項目      | →危険度が高い |
|--------------|---------|
| 水害           | ■■■■■   |
| 土砂災害         | ■■■■■   |
| 地震による地盤災害    | ■■■■■   |
| 地震による建物被害、火災 | ■■■■■   |

○近年の主な災害履歴

平成 2年 8月 8日 床下浸水5戸、床上浸水1戸  
 平成 3年 9月19日 床下浸水1戸、土砂災害1箇所  
 平成11年 8月14日 床下浸水1戸  
 平成19年 7月29日 床下浸水1戸



地形分類

|  |            |
|--|------------|
|  | 山地・丘陵地     |
|  | 低地         |
|  | 台地         |
|  | 台地上の浅い谷    |
|  | 段丘崖        |
|  | 山麓堆積地形・扇状地 |
|  | 人工地形       |

災害履歴

|  |             |
|--|-------------|
|  | 浸水があったところ   |
|  | 土砂災害があったところ |

災害危険箇所等

|  |              |
|--|--------------|
|  | 重要水防区域       |
|  | 浸水想定区域(河川氾濫) |
|  | 浸水想定区域(内水)   |
|  | 浸水被害警戒地域     |
|  | 土石流危険渓流      |
|  | 土石流危険区域      |
|  | 急傾斜地崩壊危険箇所   |
|  | 地すべり危険箇所     |

書き込み欄

|  |
|--|
|  |
|  |
|  |
|  |

みなさんが知っている防災の情報を記入しましょう(例: 浸水しやすいところ、防火水槽の位置など)



1:15000

